

斎藤さん

桐生

佐々木さん

太田東

最優秀

県高校作文コンクール表彰式



表彰された入賞者

願うようになったという。

2人は表彰式で受賞作を朗読した。

コンクールは高校生の表現力や文章構成力を上げるために毎年開催。本年度は66校から応募があり、「他者」「明日」「枝」からテーマを選ぶ課題作文に281点、自由作文に81点が寄せられた。応募回数が50回となった太田高を優良参加校として表彰した。

2位以下の入賞者は次の通り(敬称略)。

◇課題作文▽2位 高梨ひなた(中央中等) 渋生田愛実(関東学園)▽

3位 安藤周平(前橋)

石原江里子(前橋育英)

片桐芽依(明和県央)▽

佳作 佐々木璃和(市太田) 木部心乃(四ツ葉学園)

渡辺志歩(前橋育英)

牛口結衣(前橋西) 飯ヶ浜聖(中央中等)

◇自由作文▽2位 樋島学園

口こだま(前橋女) 堀地

琉聖(明和県央)▽3位

中本梨月(渋川女) 吉

田蒼(新島学園) 内田杏

菜(前橋女)▽佳作 中

島美咲(中央中等) 八木

沢和奏(太田女) 鈴木董

(高崎女) 内藤陽央(新

島学園)

(中村悠海)

第62回県高校作文コン

ンクールの表彰式が18日、高崎市の県立土屋文明記念文学館で開かれた。課題作文の部は

桐生高(通信制課程)

の斎藤あかりさん、自

由作文の部は太田東高

の佐々木真白さんが最

優秀賞に輝いた。

斎藤さんの作品「他

者」はヒマワリ畑に足

を踏み入れた時の感情

を鮮明に表現した。羨

望の対象だったヒマワ

リ畑の中で、つぼみのままの花を見て、完璧に見えていたものが実はそうではなかったことに気付いたという。

佐々木さんの作品

「挑戦すること」は、

ピアノの発表会で出会

ったおじいさんの演奏

に感動した経験をつづ

った。おじいさんの演

奏を聞いて、年齢にか

かわらず挑戦する大切

さを学び、祖父を励まし一緒に演奏したいと